

青森県埋蔵文化財調査報告書 第218集

轡 (2) 遺跡

— 県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業に伴う遺跡発掘調査報告 —

1997年3月

青森県教育委員会

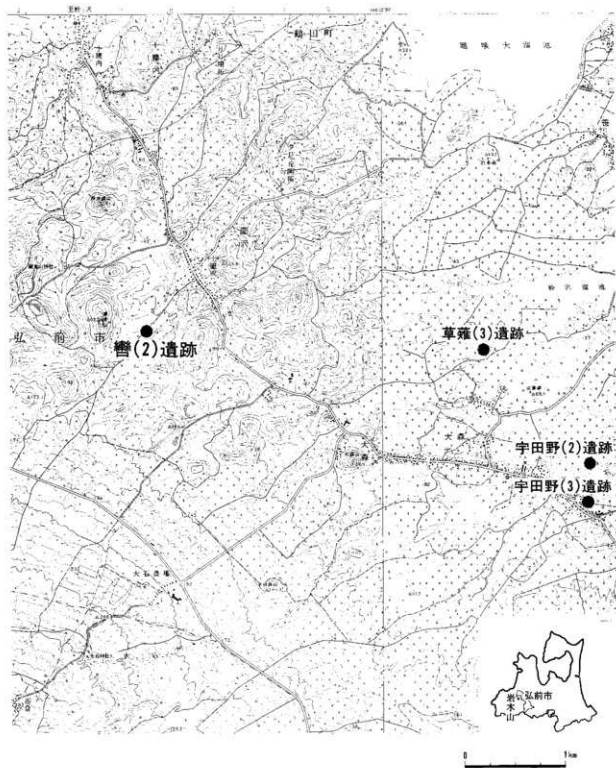


図1 遺跡の位置

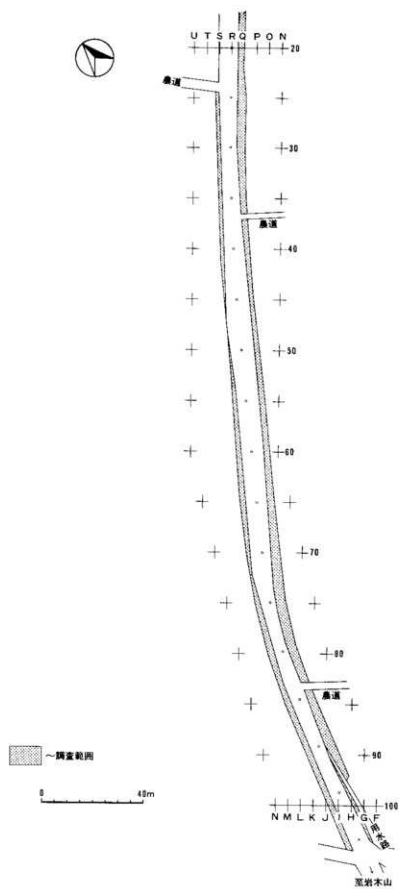


図2 調査範囲

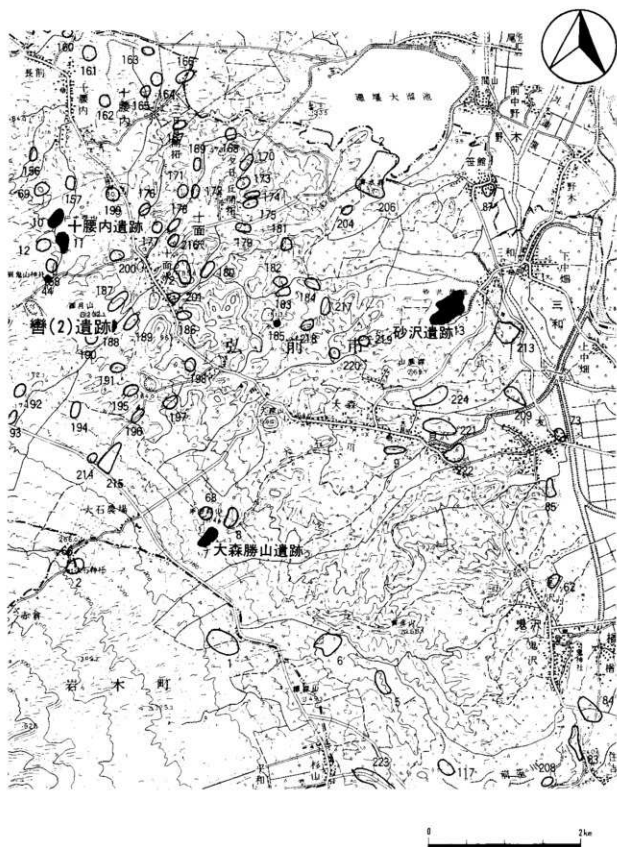


図3 周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	時代
1	湖の沢遺跡	岩木町百沢字岩木山	縄文(前、後)、弥生
2	大石神社遺跡	岩木町百沢字岩木山	縄文
5	尾上山遺跡	弘前市高杉字尾上山	縄文
6	黄金山遺跡	弘前市鬼沢字黄金山	縄文(前、後)
7	大森駒山遺跡	弘前市大森字駒山	巨石器、縄文(前、後、弥生)
8	榎森遺跡	弘前市大森字駒山	縄文
9	大森中沼遺跡	弘前市大森字駒山	縄文
10	十瀬川田遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文
11	十瀬内田遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文(後、弥生)
12	蔵飯山神社元宮遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文(中、後)、平安
13	砂沢遺跡	弘前市三和字下池神	縄文(弥生)
69	大石神社遺跡	弘前市大森字駒山	縄文(弥生)
66	甕子山遺跡	弘前市十瀬内字甕子山	縄文(弥生)
72	常盤遺跡	弘前市十瀬内字大面	縄文(弥生)
117	鬼沢集沢遺跡	弘前市鬼沢字集沢	縄文、平安
156	鬼沢集沢遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文(後、弥生)
157	集沢田遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文(後)
158	嶺沢山遺跡	弘前市十瀬内字集沢	縄文(後)
160	野中3遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(前)
161	野中3遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(早)
162	野中4遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(後、弥生)
163	野中5遺跡	弘前市十瀬内字野中	平安
164	野中6遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(後、弥生)
165	野中7遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(後、弥生)
166	野中8遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(後)
168	野中11遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(後)
169	狐塚2遺跡	弘前市十瀬内字野中	平安
170	狐塚3遺跡	弘前市十瀬内字野中	縄文(中、後)
171	森田1遺跡	弘前市十瀬内字森田	縄文(後)
172	森田2遺跡	弘前市十瀬内字森田	縄文(前)
173	浜妻ノ神1遺跡	弘前市十瀬内字浜妻ノ神	縄文(前)
174	浜妻ノ神2遺跡	弘前市十瀬内字浜妻ノ神	縄文(後、弥生)
175	浜妻ノ神3遺跡	弘前市十瀬内字浜妻ノ神	縄文(後)
176	森田4遺跡	弘前市十瀬内字森田	平安
177	森田5遺跡	弘前市十瀬内字森田	縄文(前)
178	森田6遺跡	弘前市十瀬内字森田	縄文(弥生)

番号	遺跡名	所在地	時代
179	浜妻ノ神山遺跡	弘前市十瀬内字浜妻ノ神	縄文(後、弥生)
180	大面遺跡	弘前市十瀬内字大面	縄文(弥生)
181	湯ヶ森1遺跡	弘前市十瀬内字湯ヶ森	平安
182	湯ヶ森2遺跡	弘前市十瀬内字湯ヶ森	縄文(後、弥生)
183	湯ヶ森3遺跡	弘前市十瀬内字湯ヶ森	縄文(後)
184	湯ヶ森4遺跡	弘前市十瀬内字湯ヶ森	縄文(早、後)
185	湯ヶ森5遺跡	弘前市十瀬内字湯ヶ森	縄文(後、弥生)
186	十瀬沢田田遺跡	弘前市十瀬内字沢田	縄文(前、後)
187	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(弥生)
188	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(弥生)
189	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(中、後、弥生)、平安
191	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(弥生)
192	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(弥生)
193	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(後)
194	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(後)
195	勝山遺跡	弘前市十瀬内字勝山	弥生
196	勝山遺跡	弘前市大森字勝山	縄文(前)
197	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(前、後)
198	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字赤坂	縄文(前)
199	赤坂遺跡	弘前市十瀬内字赤坂	縄文(前)
200	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文(後、弥生)
201	十瀬沢田田遺跡	弘前市十瀬内字沢田	縄文(弥生)
204	清水森山遺跡	弘前市十瀬内字清水森	縄文、弥生、平安
206	清水森遺跡	弘前市十瀬内字清水森	縄文
214	鶴山遺跡	弘前市十瀬内字鶴山	縄文
215	勝山遺跡	弘前市大森字勝山	縄文
216	森田1遺跡	弘前市十瀬内字森田	縄文
217	草薙2遺跡	弘前市大森字草薙	縄文、平安
218	草薙2遺跡	弘前市大森字草薙	縄文
219	草薙4遺跡	弘前市大森字草薙	縄文
220	草薙4遺跡	弘前市大森字草薙	縄文
221	宇田野田遺跡	弘前市小友字宇田野	縄文、平安
222	宇田野田遺跡	弘前市小友字宇田野	縄文
223	尾上山遺跡	弘前市高杉字尾上山	縄文、平安
224	炭原遺跡	弘前市小友字炭原	縄文

表1 周辺の遺跡

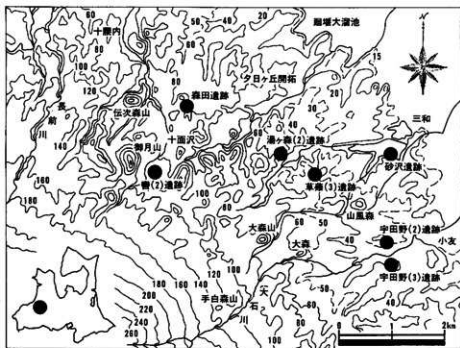


図4 岩木山北東麓の等高線図



図5 岩木山北東麓の地形分類図

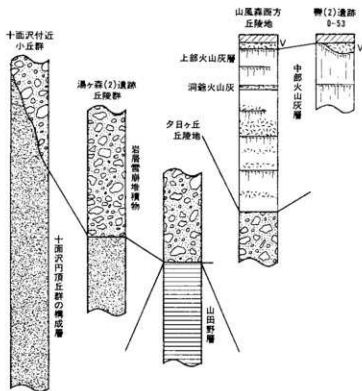


図6 遺跡内及び周辺の火山灰層等の模式柱状図

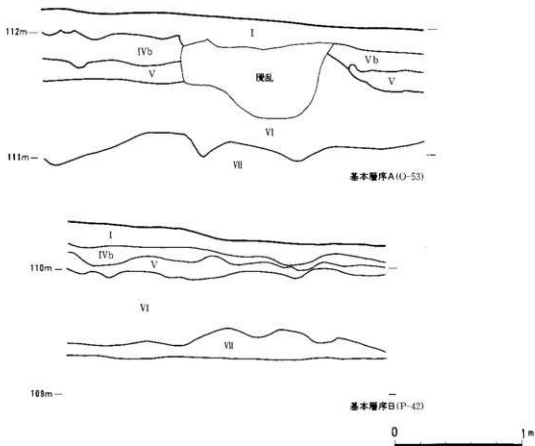


図7 基本層序

第3章 出土遺物

本遺跡は、りんご畑の造成に伴い削平及び盛土が行われており、今回の調査区内において遺構は検出されなかった。また、出土した遺物も少なく、土器は全て破片で9点、石器は不定形石器6点が出土した。

1 土器

出土した土器は、破片で9点である。そのうち1～6は同一個体と考えられるので、別個体4個が出土したことになる。しかし、断面が擦り減って丸みを帯びるほど磨耗が激しい資料ばかりである。これらは、縄文時代晩期～弥生時代の土器片と思われる。

1～6は、同一個体と思われ、1は口縁部、それ以外は全て胴部破片である。口縁は外反し、口唇部には刻みを施し、口頸部下半から山形状に幅3mm程の沈線が施している。焼成は良好で、堆土には砂粒の混入が目立つ。

7は、胴部破片で、縄文を施している。磨耗のため、縄文の撚り方向などは不明である。外面にすずが付着している。焼成は良好で、堆土には砂粒の混入が目立つ。出土土器の中では比較的厚い。

8は、波状口縁と思われる口縁部で、直径8mm・深さ3mm程の貫通しかけたような穴が認められる。口唇部には、縄文の圧痕が施しているようだ。

9は、胴部破片で、縄文を施している。焼成は良好で、堆土には砂粒の混入が目立つ。弥生時代の土器片と思われる。

(山内 実)

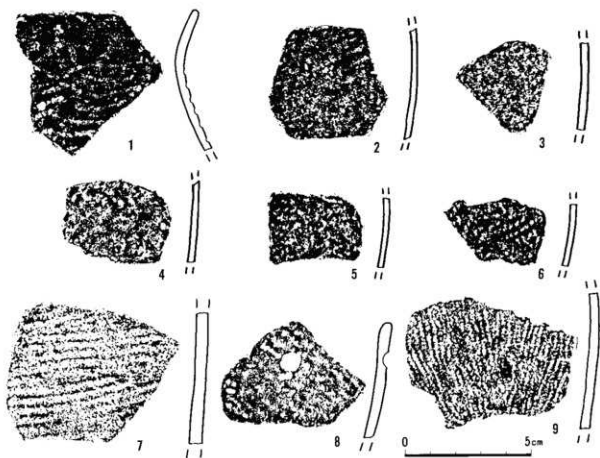


図8 出土土器

2 石器

6点の出土で、すべて剥片素材の不定形石器である。出土地点は、1点を除いてQ-17グリッドに集中している。

- 1 縦長剥片の片側縁に、連続した微細剥離が認められる。先端部が欠損しており、この折損部から2mm程上部に亀裂が認められることから、錐的な使用をした可能性が考えられる。
- 2 縦長剥片の両側縁に、片面から連続した剥離を加え、尖頭部を作出していることから石錐または石鏃の可能性が考えられる。背面には欠損の痕跡が認められないが、器端（バルブ）部が破損していることから未製品または欠損品とも考えられる。
- 3 縦長剥片を素材とし、片側縁に連続した刃部調整が認められ、磨滅が認められる。他側縁には長い微細剥離が認められる。
- 4 横型剥片の一部に連続した剥離がなされており、この縁辺に油脂光沢が認められる。
- 5 縦長剥片に横位からの剥離が認められる。フレークコアまたは欠損品と考えられる。
- 6 薄い剥片に剥離痕が数方向から認められるが、大きな破損面のあることから、整形途中の破損破片と考えられる。

これらの石質素材はすべて珩質頁岩である。

このほかに剥片及び礫が数点出土したが、使用痕跡は認められなかった。

(白鳥 文雄)

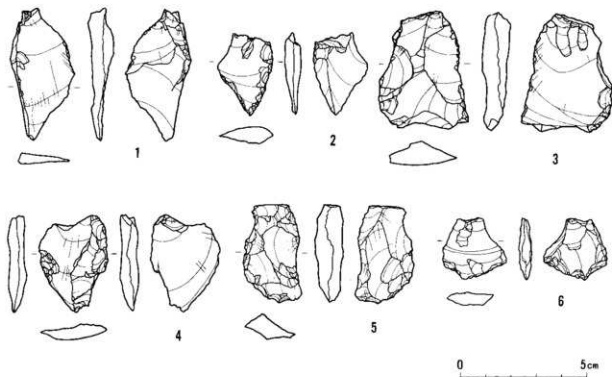


図9 出土石器

表 2 土器観察表

図版番号	出土位置	層位	部位	文 様 構 成	時 期	備 考
図 8 - 1	Q - 20	表採	口縁	口頸部下半に山形状沈線文数段施文	縄文晩期	
- 2	"	"	胴部		"	1 と同一個体
- 3	"	"	"		"	"
- 4	"	"	"		"	"
- 5	"	"	"		"	"
- 6	"	"	"		"	"
- 7	L - 45	"	"	縄文施文, 外面にすず付着	"	
- 8	Q - 17	"	口縁	波状口縁の一部? 未貫通孔?	"	
- 9	Q - 20	"	胴部	縄文施文	弥生?	

表 3 石器計測表

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石 質	器 種	備 考
図 9 - 1	Q - 22	表採	52.0	25.5	10.0	7.0	珧質頁岩	不定形	
- 2	Q - 17	"	32.0	21.5	6.5	3.1	"	"	
- 3	"	"	46.5	36.0	9.5	14.8	"	"	
- 4	"	"	38.0	27.0	7.0	6.1	"	"	
- 5	"	"	38.5	23.0	11.5	9.4	"	"	
- 6	"	"	24.5	25.0	5.0	2.8	"	"	



遠景(北から)



近景(北から)



作業風景



基本層序(O-53)



基本層序(P-42)

写真1



粗掘り終了(Q-13~25)



粗掘り終了(Q-25付近)



粗掘り終了(表土が薄い状況)



調査終了(O-60付近)



粗掘り終了(Q-26付近)

写真 2



1



2



3



4



5



6



7



8



9

土器 (S=1/2)



1



2



3



4



5



6

石器 (S=1/1)

写真3 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	くつわ 2 いせき							
書名	樽 (2) 遺 跡							
副書名	県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業に伴う遺跡発掘調査報告							
巻次								
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第218集							
編著者名	白鳥文雄・下山信昭・山内 実							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038 青森市大字新城字天田内152-15 TEL0177 (88) 5701							
発行年月日	西暦1997年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
樽 (2)	青森県弘前市大字 十面沢字樽47-2 外	02202	02188	40° 43' 17"	140° 20' 51"	19951011 ～ 19951024	1,000	県営農林漁業用揮発 油税財源身替農道整 備事業
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
樽 (2)		縄 文			縄文土器・石器			

